

35th

サタデープログラムニュース

講座番号 1 番 第一部 (9:30~11:00)

中部経済同友会講座

人としてどう生きるか

講師 種村均さん

たねむらひとしさん

1948 年生、三重県生まれ。1964 年東海高校入学。1971 年名古屋大学経済学部卒。(株)日本陶器(現ノリタケカンパニーリミテドカンパニー)入社。財務部長、副社長等を経て、2008 年、代表取締役社長就任。2013 年(平成 25 年)には代表取締役会長に就任。現相談役。



「ノリタケ」という会社

皆さんは「ノリタケ」という会社をご存じですか？皆さんのイメージは「陶器」とか「ノリタケの森」(名古屋市中村区)とかではないでしょうか。しかし、実はそれだけではないのです。

陶器類の売上は、種村さんが就職されたころは売上の70%も占めていましたが、今は7%程度。主力は工業機材およびセラミックマテリアル、環境エンジニアリングです。

種村さんがノリタケに就職されたのは、ノリタケの本社が三重県の実家から通える名古屋駅近くで、のんびりしていた社風が自分にあっという感じがしたからだそうです。社内では順風満帆に出世されたのではなく、上司に率直に意見をし、煙たがられて左遷されたことも。でも左遷された種村さんを拾う上司も。

そんなノリタケの元社長で中学生の僕たちにも敬語をつかわれるすごい紳士の種村さんに僕たちは人生について教わってきました。

相談役とは？

種村さんの今の肩書に「相談役」。これはどんなことをされるのでしょうか？実は、社長などを務めていた経験を活かすための肩書なのです。

具体的に言うと、社内でのトラブルなどに対し、そこに相談が持ち込まれた場合、社長などを務めた経験を活かしそれを解決する、という職業なのです。また、他社との人間関係も豊富で、豊かな人脈を活かすことも。つまり、経験豊富な人しか務められない、といっても過言ではないのです。

3つの判断の方法～善悪・正誤・適否～

種村さんは「人生において判断の基準にして来たものがある」といいます。まずは「善悪」、2つ目は「正誤」、3つ目は「適否」です。

「善悪」は、その判断は倫理的に「善」なのか、「悪」なのか、ということです。2つ目の「正誤」は、これはルールとしてあっている方法なのか、ということ、そして「適否」は、それは一番いい方法なのか、ということです。

種村さんは「これら3つの事が1つでも欠けていたら、その人はリーダーになるべきではない」と考えていらっしゃいます。今回の講座では、この「3つの判断」について、もっと詳しくお話いただきます。

東海での思い出

種村さんは三重県員弁郡東員町で生まれ、高校から東海に入学したのですが、自分の家から通学時間が1時間半以上もかかるため、東海高校から近い山口町に下宿して学校に通いました。高校生の時から下宿というのはすごいですね。

そんな種村さんですが、東海高校入学時にカルチャーショックを受けたそうです。まずは、やはり男子しかいなかったこと。そして、言葉がまったくちがうこと。三重県は関西弁に近いイントネーションをするので、とても困惑したそうです。

ちなみに、東海での成績は630番中(1学年でこんなにも生徒がいました!)100～150番で、成績はいい方だったようです。

今回の講座では…

今回の講座では、種村さんが自分の意見や実体験を交えながらお話をしていただきます。また、質問時間もありますので、気になることを自由に聞けます。

堅苦しい話が嫌いな人でも大丈夫！
人生のために大切な事を学べる講座
「人としてどう生きるか」

ぜひお越し下さい！！



文責 J11 村上、奥井